

# 信頼され共感される 政治をめざして

いま日本の政治は市民、国民に共感を得られるような政策を届けられているでしょうか？

残念ながら、共感どころか、多くが不信や失望であり、政治に期待がもてない状況をつくりだしています。

一方、多くのスポーツや音楽、そして芸術は、常に私たちに癒しと感動を与え、それは私たちの生き方の大きな勇気となっています。

なぜ、これほど違うのでしょうか。ただひたすらに夢を追い求める多くのアスリートやアーティストの姿は、表舞台では見せない裏の努力の積み重ねの結果であり、勝ち負けという厳しい世界の中で必死で闘う姿が美しく、そして私たちの夢を背負って頑張ってくれている姿が感動を与えています。

しかし、政治は嘘や偽りがまかり通り、国民との意識が乖離した状況では政治に信頼など生まれるはずがありません。

私はこれまで「主権者は常に市民」を念頭に、地方議会の末席で仕事をさせていただいてきましたが、現在の政治の有り様には申し訳ない気持ちと腹立たしさを

感じています。

今回、再度地方議会の場へ駒を進めるにあたり、初心を忘れず、まちの政策が市民の皆さんに共感され、幸せを実感できるまちづくりを進めていきたいと考えています。

ここに向こう4年間の私のやるべき中心的な仕事をまとめてみました。

一緒に、小さくてもキラリと光るまちづくりを進めてみませんか。

## ◆プロフィール◆

昭和32年(1957年)10月に宮崎県都城市に生まれる(現在65歳)。

宮崎県立都城商業高等学校情報処理科卒業。

中学時代は吹奏楽に在籍しホルンを担当。九州大会2年連続銀賞。

高校時代は吹奏楽と生徒会活動に熱中。

1976年(S51)12月から栗東市在住。JRAの厩舎従業員労組の専従書記長を歴任。平成15年より栗東市議会議員を務め「主権者は常に市民」を信条に、現在、栗東市議会議員5期目。62歳から県のシニア大学の「レイカディア大学びわ湖環境学科」で学ぶ。座右の銘は、北里柴三郎氏の「熱をもて誠をもて」。趣味は、ビートルズとサザンオールスターズをこよなく愛し、LIVEにも足繁く通うこと。



栗東市議会議員  
田村たかみつ